



岡山市町村総合事務組合の運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和元年 6 月 3 日

岡山市町村総合事務組合管理者 山崎 親男



岡山市町村総合事務組合規則第 1 号

岡山市町村総合事務組合の運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則

岡山市町村総合事務組合の運営に関する条例施行規則(平成 17 年岡山市町村総合事務組合規則第 2 号)の一部を次のように改正する。

別表第 1 第 3 号の (4) 中「せん孔, タイプ, 電話交換, 電信等の」を「電子計算機への入力を反復して行う」に, 「手指のけいれん, 手指, 前腕等のけん, けんしょう若しくはけん周囲の炎症又は頸肩腕症候群」を「後頭部, けい部, 肩甲帯, 上腕, 前腕又は手指の運動器障害」に改め, 同表第 4 号の (8) 中「(7)」を「(8)」に改め, 同号中 (8) を (9) とし, (7) を (8) とし, (6) の次に次のように加える。

(7) 石綿にさらされる業務に従事したため生じた良性石綿胸水又はびまん性胸膜肥厚

別表第 1 第 6 号の (1) 中「の業務」の次に「, 介護の業務」を加え, 同号の (2) 中「皮」を「革」に改め, 同号の (5) 中「(1) から (4) に」を「(1) から (4) までに」に改め, 同表第 7 号の (10) 中「肝血管肉しゅ」の次に「又は肝細胞がん」を加え, 同号の (13) 中「又は甲状腺がん」を「, 甲状腺せんがん, 多発性骨髄しゅ又は非ホジキンリンパしゅ」に改め, 同号の (15) 中「(14)」を「(15)」に改め, 同号中 (15) を (16) とし, (11) から (14) までを (12) から (15) までとし, (10) の次に次のように加える。

(11) オルトートルイジンにさらされる業務に従事したため生じたぼうこうがん

別表第 1 中第 8 号を第 10 号とし, 第 7 号の次に次の 2 号を加える。

8 相当の期間にわたって継続的に行う長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務に従事したため生じた狭心症, 心筋こうそく, 心停止(心臓性突然死を含む。), 心室細動等の重症の不整脈, 肺そく栓症, 大動脈りゅう破裂(解離性大動脈りゅうを含む。), くも膜下出血, 脳出血, 脳血栓症, 脳そく栓症, ラクナこうそく又は高血圧性脳症及びこれらに付随する疾病

9 人の生命にかかわる事故への遭遇その他強度の精神的又は肉体的負荷を与える事象を伴う業務に従事したため生じた精神及び行動の障害並びにこれに付随する疾病

様式第 67 号中

組合加入
年 月 日

昭和・平成 年 月 日

を

組合加入
年 月 日

年 月 日

に改める。

様式第 70 号中

収入印紙貼付	
10 万円以下	200 円
50 万円以下	400 円
100 万円以下	1000 円
500 万円以下	2000 円
1000 万円以下	10000 円
2000 万円以下	20000 円

を

収入印紙貼付	
10 万円以下	200 円
50 万円以下	400 円
100 万円以下	1000 円
500 万円以下	2000 円
1000 万円以下	10000 円
3000 万円以下	20000 円

に改める。

様式第 84 号「表面」中

事故年度	
平成	年度

を

事故年度	
	年度

に改める。

様式第 89 号「表面」中

事故日時	平成 年 月 日	[午前]・[午後]	時 分頃
------	----------	-----------	------

を

事故日時	年 月 日	[午前]	[午後]	時 分頃
------	-------	------	------	------

に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

岡山市町村総合事務組合の運営に関する条例施行規則の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>別表第1</p> <p>1～2 略</p> <p>3 身体に過度の負担のかかる作業態様の業務に従事したため生じた次に掲げる疾病及びこれらに付随する疾病</p> <p>(1)～(3) 略</p> <p>(4) <u>電子計算機への入力を反復して行う業務その他上肢に過度の負担のかかる業務に従事したため生じた後頭部、けい部、肩甲骨、上腕、前腕又は手指の運動器障害</u></p> <p>(5) 略</p> <p>4 化学物質等にさらされる業務に従事したため生じた次に掲げる疾病及びこれらに付随する疾病</p> <p>(1)～(6) 略</p> <p>(7) <u>石綿にさらされる業務に従事したため生じた良性石綿胸水又はびまん性胸膜肥厚</u></p> <p>(8) 略</p> <p>(9) (1)から(8)までに掲げるもののほか、化学物質等にさらされる業務に従事したため生じたことの明らかな疾病</p> <p>5 略</p> <p>6 細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に従事したため生じた次に掲げる疾病及びこれらに付随する疾病</p> <p>(1) 患者の診療若しくは看護の業務、<u>介護の業務</u>又は研究その他の目的で病原体を取り扱う業務に従事したため生じた伝染性疾患</p> <p>(2) 動物若しくはその死体、獣毛、<u>革</u>その他動物性の物又はぼろ等の古物を取り扱う業務に従事したため生じたブルセラ症、炭そ病等の伝染性疾患</p> <p>(3)・(4) 略</p> <p>(5) (1)から(4)までに掲げるもののほか、細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に従事したため生じたことの明らかな疾病</p> <p>7 がん原性物質又はがん原性因子にさらされ</p>	<p>別表第1</p> <p>1～2 略</p> <p>3 身体に過度の負担のかかる作業態様の業務に従事したため生じた次に掲げる疾病及びこれらに付随する疾病</p> <p>(1)～(3) 略</p> <p>(4) <u>せん孔、タイプ、電話交換、電信等の業務その他上肢に過度の負担のかかる業務に従事したため生じた手指のけいれん、手指、前腕等のけん、けんしょう若しくはけん周囲の炎症又は頸肩腕症候群</u></p> <p>(5) 略</p> <p>4 化学物質等にさらされる業務に従事したため生じた次に掲げる疾病及びこれらに付随する疾病</p> <p>(1)～(6) 略</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>(7) 略</p> <p>(8) (1)から(7)までに掲げるもののほか、化学物質等にさらされる業務に従事したため生じたことの明らかな疾病</p> <p>5 略</p> <p>6 細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に従事したため生じた次に掲げる疾病及びこれらに付随する疾病</p> <p>(1) 患者の診療若しくは看護の業務_____又は研究その他の目的で病原体を取り扱う業務に従事したため生じた伝染性疾患</p> <p>(2) 動物若しくはその死体、獣毛、<u>皮</u>その他動物性の物又はぼろ等の古物を取り扱う業務に従事したため生じたブルセラ症、炭そ病等の伝染性疾患</p> <p>(3)・(4) 略</p> <p>(5) (1)から(4)に_____掲げるもののほか、細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に従事したため生じたことの明らかな疾病</p> <p>7 がん原性物質又はがん原性因子にさらされ</p>

る業務に従事したため生じた次に掲げる疾病
及びこれらに付随する疾病

(1)～(9) 略

(10) 塩化ビニルにさらされる業務に従事したため生じた肝血管肉しゅ又は肝細胞がん

(11) オルトートルイジンにさらされる業務に従事したため生じたぼうこうがん

(12) 略

(13) 略

(14) 放射線にさらされる業務に従事したため生じた白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉しゅ、甲状腺がん、多発性骨髄しゅ又は非ホジキンリンパしゅ

(15) 略

(16) (1)から(15)までに掲げるもののほか、がん原性物質又はがん原性因子にさらされる業務に従事したため生じたことの明らかな疾病

8 相当の期間にわたって継続的に行う長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務に従事したため生じた狭心症、心筋こうそく、心停止（心臓性突然死を含む。）、心室細動等の重症の不整脈、肺そく栓症、大動脈りゅう破裂（解離性大動脈りゅうを含む。）、くも膜下出血、脳出血、脳血栓症、脳そく栓症、ラクナこうそく又は高血圧性脳症及びこれらに付随する疾病

9 人の生命にかかわる事故への遭遇その他強度の精神的又は肉体的負荷を与える事象を伴う業務に従事したため生じた精神及び行動の障害並びにこれに付随する疾病

10 前各号に掲げるもののほか、公務に起因することの明らかな疾病

る業務に従事したため生じた次に掲げる疾病
及びこれらに付随する疾病

(1)～(9) 略

(10) 塩化ビニルにさらされる業務に従事したため生じた肝血管肉しゅ

(新設)

(11) 略

(12) 略

(13) 放射線にさらされる業務に従事したため生じた白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉しゅ又は甲状腺がん

(14) 略

(15) (1)から(14)までに掲げるもののほか、がん原性物質又はがん原性因子にさらされる業務に従事したため生じたことの明らかな疾病

(新設)

(新設)

8 前各号に掲げるもののほか、公務に起因することの明らかな疾病

